

「ことばと発達」

第V章 第1講

人間発達の可塑性

ことばが遅滞するとき

-養育放棄の中でのことばの育ち-

内田 伸子

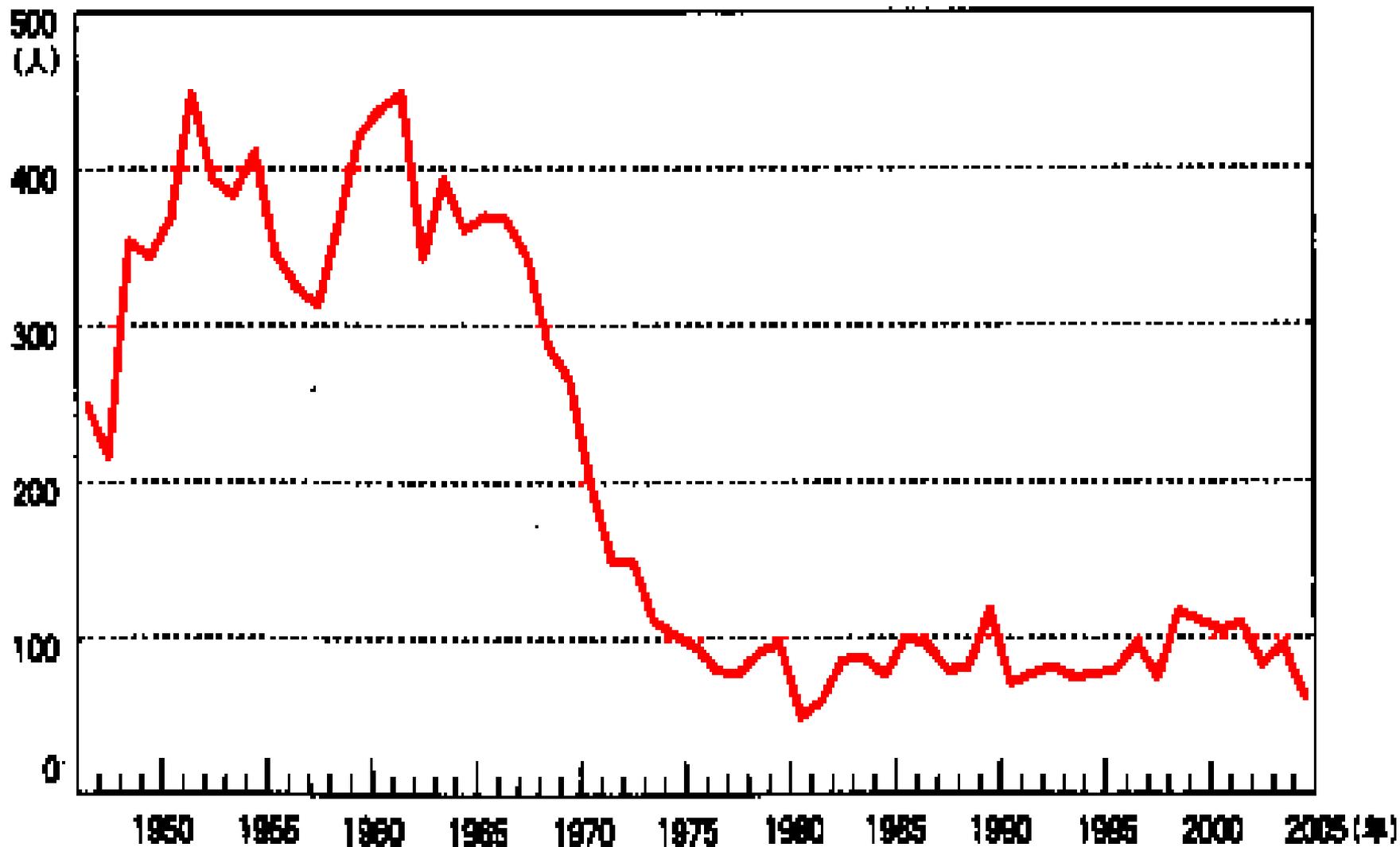
(お茶の水女子大学 発達心理学)

子どもたちの今

- (1) 不登校やひきこもり, 学級崩壊,
フリーター
- (2) 少年犯罪の低年齢化
 - ① 母子密着  父親不在
 - ② 偏差値高い
 - ③ 自尊感情の低さ  社会的孤立
- (3) 過保護の親: 子どもの自律性を無視
親自身が孤立し強度のストレス
早期教育、虐待

リスク社会の予兆

1. **コミュニティ(地域生活共同体)**が家族を守っていた
2. **「共食」**;食卓を囲んでの団欒は(昭和30年代までは)あたりまえの風景だった。
⇔**家族の絆、命をつなぐ、食文化を伝承する**
3. 高度経済成長の中で暮らしが変わり始めた！
1982年(NHK・女子栄養大学)
子どもの**個食⇒孤食**がマスコミでとりあげられる
⇔**リスク社会到来の予兆**
言い知れぬ不安⇒「モラルパニック現象」



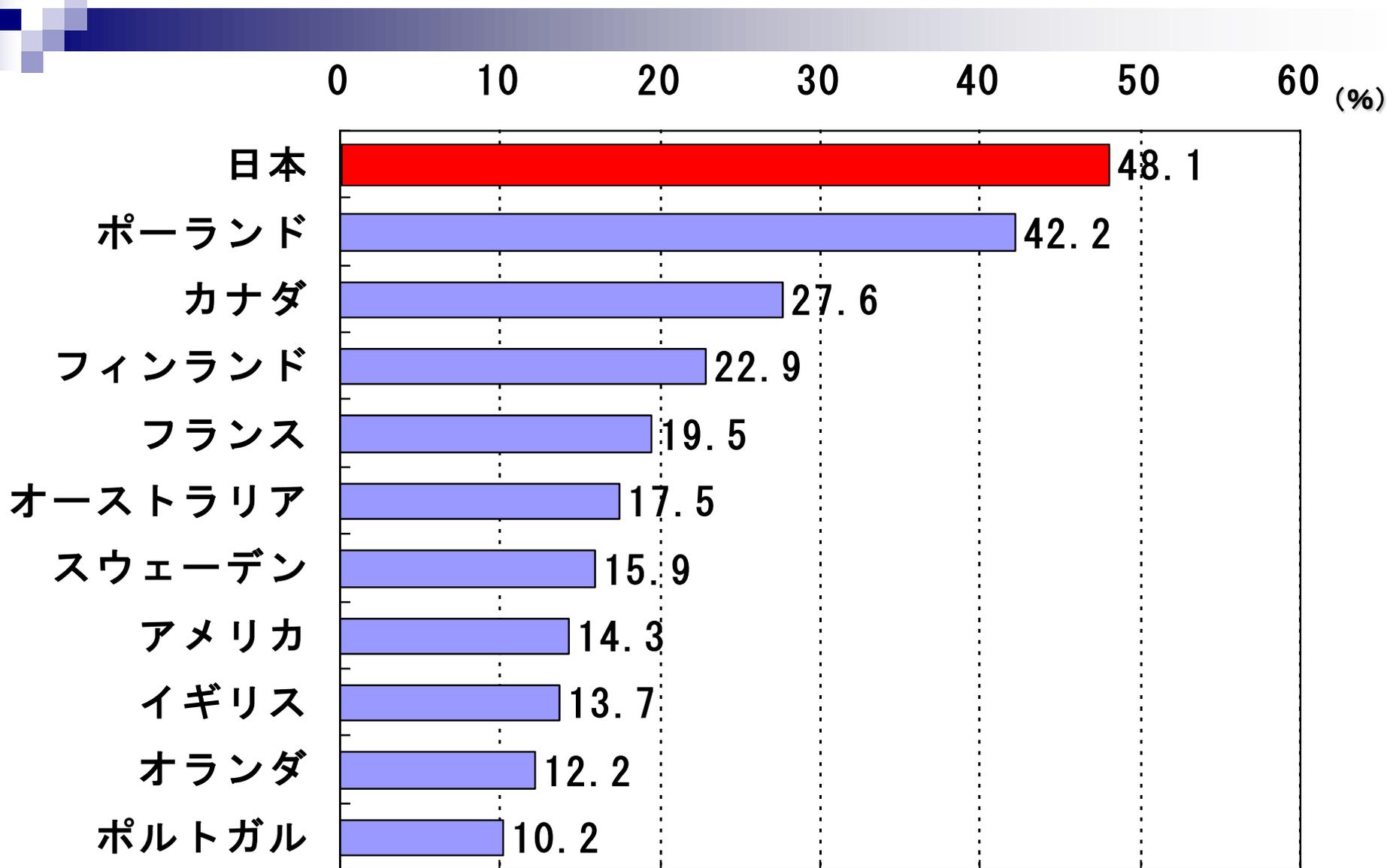
少年殺人犯の検挙人員

(「平成17年版 犯罪白書」から)

モラル・パニック現象

- 量的にも質的にも少年犯罪は悪化したわけではない。社会の側で現実に存在するリスク以上のリスクを人々が強く感じ危機感を抱く「モラル・パニック」現象が生じているのである。（浜井，2000）
- 変化があったとするならば、それは少年犯罪の側ではなく少年犯罪に対する社会の側である。

⇔過剰反応～厳罰主義へ



少年犯罪防止策としての厳罰化

「犯罪に対する刑を重くする 刑罰を厳しくする」を選択した比率を示したものである。
(「国際犯罪被害調査 (ICVS) に見るわが国の治安」から)

モラル・パニック現象

- 量的にも質的にも少年犯罪は悪化したわけではない
⇔少年犯罪に対する社会の側の不安の増大。

⇔**コミュニティ（生活共同体）の崩壊**

★1988年頃から人々の絆が断ち切られた

◆コンビニ・お弁当屋さん⇔「一人食べ」

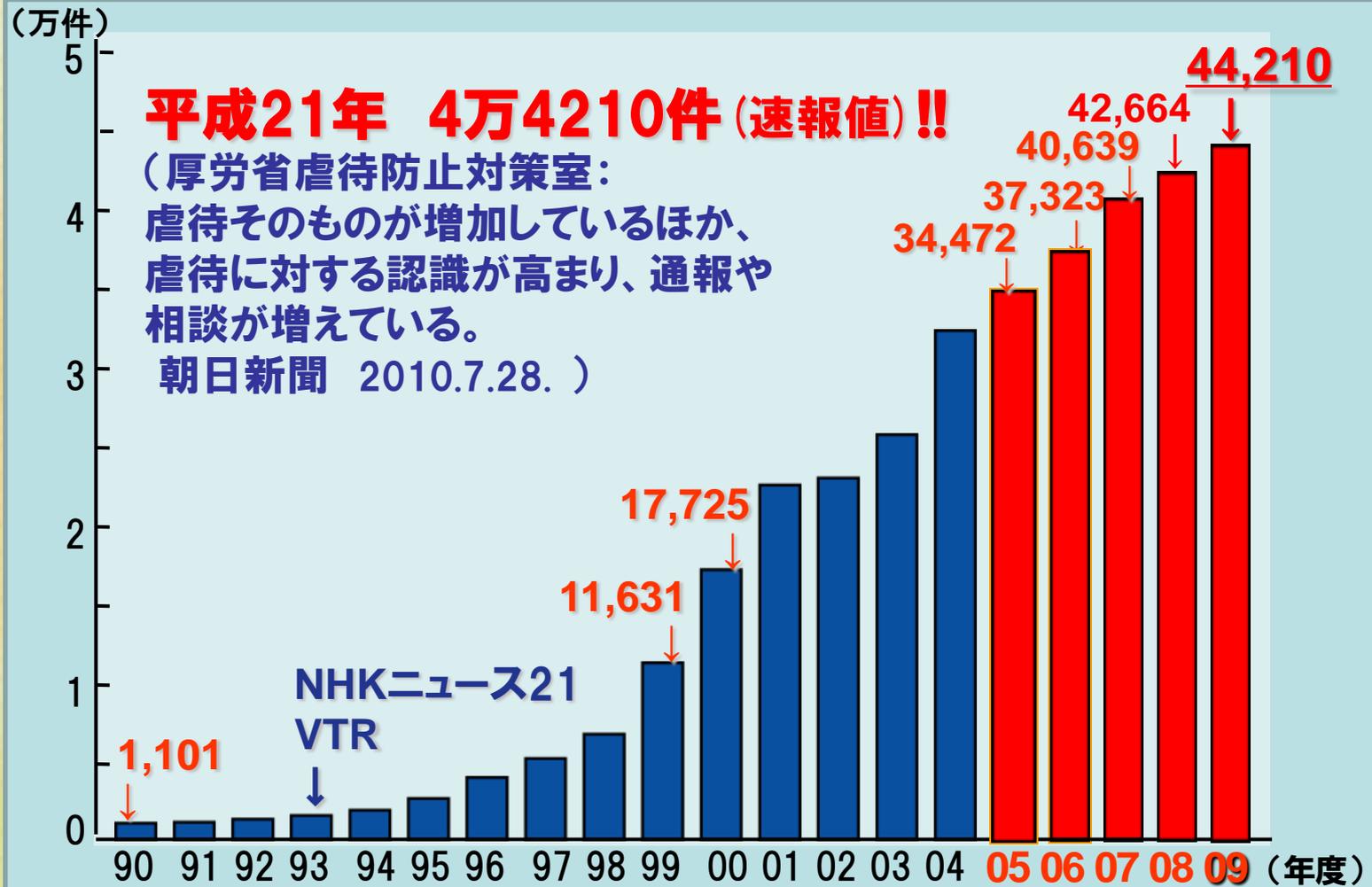
◆塾と学校のダブルスクール

◆0歳児保育所・駅前保育所

★**教育・保育・しつけまで**アウトソーシング!

★**親自身が孤立⇒虐待や育児不安・早期教育**

児童虐待の相談処理件数



児童虐待相談4万4210件

09年度 強制的な調査は1件

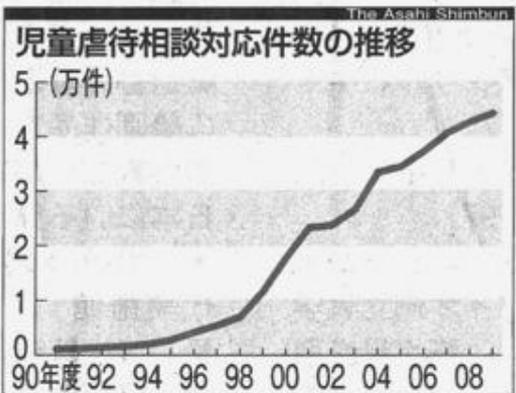
全国の児童相談所が2009年度に対応した児童虐待は過去最多の4万4210件(速報値)に上ったことが28

日、厚生労働省のまとめで明らかになった。また、08年度の虐待による死亡事例は、前年度より増えて107件128人。心中以外のケースは67人で、このうち0歳児が39人と6割近くを占めた。

児童虐待の対応件数は、児童相談所が相談を受け、面接などを行った件数をまとめたもので、前年度より15466件増えた。年々増え続けており、虐待への関心の高まりなどから相談や通報が増える一方、虐待そのものも増えているとみられる。大阪府は1082件増えて5436件。中でも大阪府は735件増えた。東京都は110件増の339件だった。

08年度からは、児童相談所が強制的に立ち入り調査できるようにになったが、実施されたのは前年度より1件減って1件にとどまった。

一方、08年度の死亡事例は前年度より17件14人増えた。心中以外のケースを分析すると、0歳児の割合が前年度の47%から10%以上増加。0歳児39人のうち26人が0カ月児



で、生まれたその日に虐待で死亡した子どもが16人いた。こうした事例では医療機関を受診せずに出産している場合もあるという。

虐待死の事例を見ると、望まない妊娠が3割を超え、母子手帳が発行されていないケースも3割近く。乳幼児健診を受けていない割合も前年度より増えた。親の心理状況は、母親側は「育児不安」、父親側は「攻撃性」の問題が目立った。

厚生労働省は虐待死を防ぐため、望まない妊娠など妊娠の悩みに対する相談体制を充実させ、乳幼児健診の受診を呼びかける。

虐待

- (1) 身体的暴行
- (2) **ネグレクト**(養育怠慢・養育拒否)
40%
- (3) 性的暴行(近親姦)
- (4) 心理的虐待
(ことばによる痛めつけ・極端な無視)

「虐待」 ➡ 親の問題

1. 母親が父親に不満を抱く

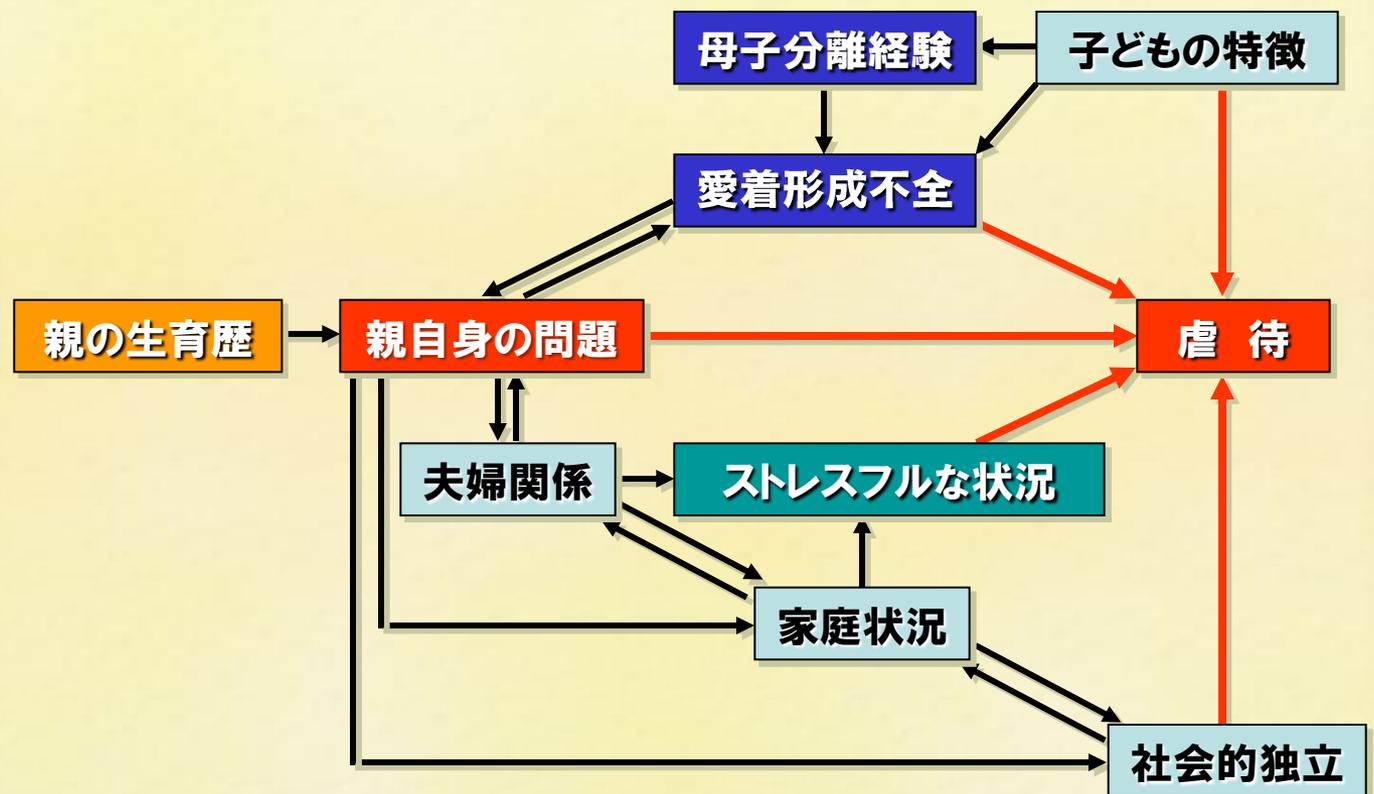
2. 父 — 母 — 子の三角関係

3. 未婚で出産

4. 育児不安[高学歴の専業主婦]

⇔ 育児の理想とのギャップに基づく不安

虐待の発生要因(テキストp.126)



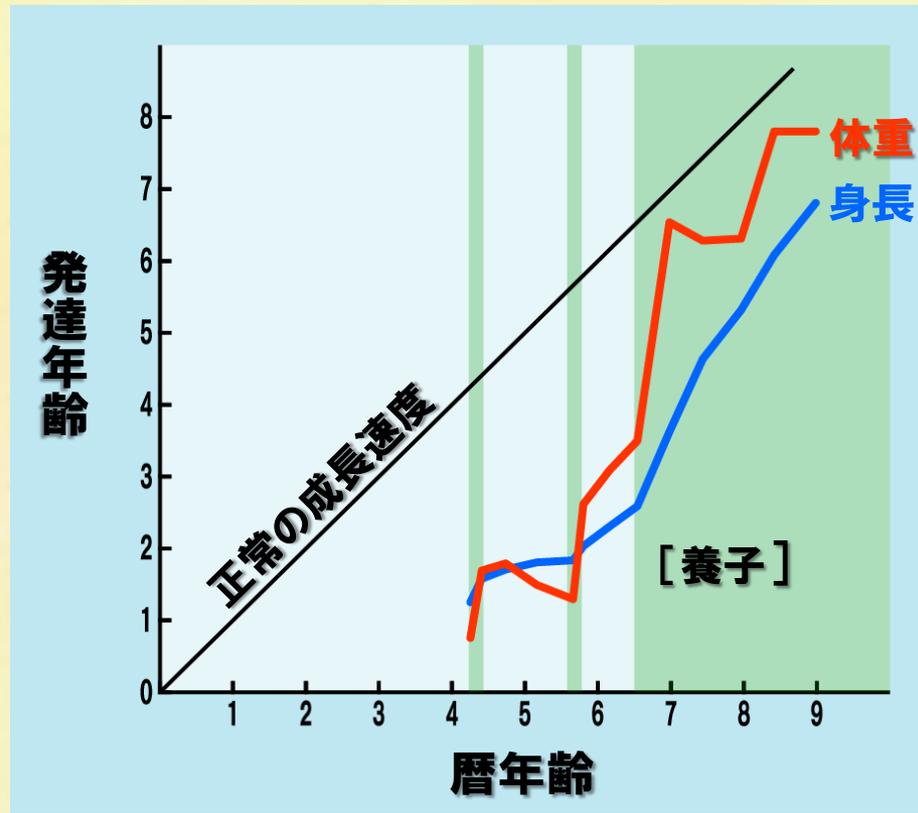
(庄司, 1992)

虐待を受けると？

極端な発達遅滞

1. からだが小さい
2. ことばや知能の遅滞
3. 幼形性 (neonate)

心理・社会的侏儒症(PSD)



(Hopwood & Becker, 1980)

心理・社会的侏儒症(PSD)

(1) ストレスと成長ホルモン

(2) 分子レベル

ストレス耐性;ステリルグリコシド(SG)

小さなストレスで耐性をつけるとコレステリルグリコシドが作られ、最後には**ストレスたんぱく質**を体内に蓄えることができる⇔ストレスに耐えて成長
(室伏,2003)

★「母子分離」～

「母子相互作用」の質(正負)

早期離乳ストレス

研究室内で繁殖させた、バルブC種 マウス

- ・固形飼料を
食べ始める
- ・体温調節可能

生後(週) 0 1 2 3 4

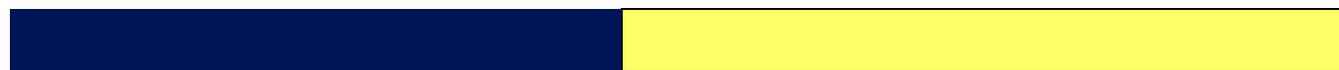
21日齢

通常離乳群
(Normal)



離乳

早期離乳群
(Early)



14日齢

情動に関わる部位

大脳皮質

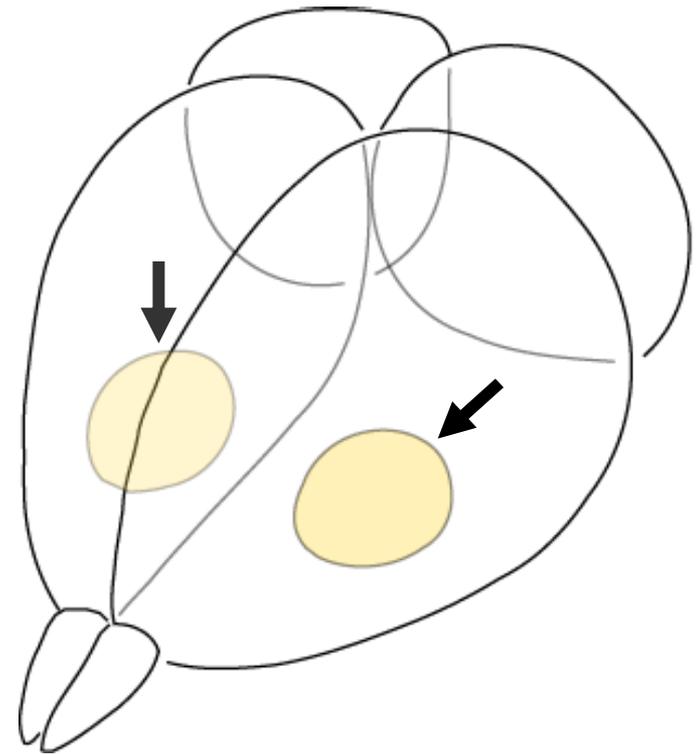
意志、思考を司り、
前頭前野が特に情動に関与

海馬

記憶を司り、学習、
情動に関与

扁桃体

情動、価値判断を司る



神経活動が始まると⇔ミエリン化

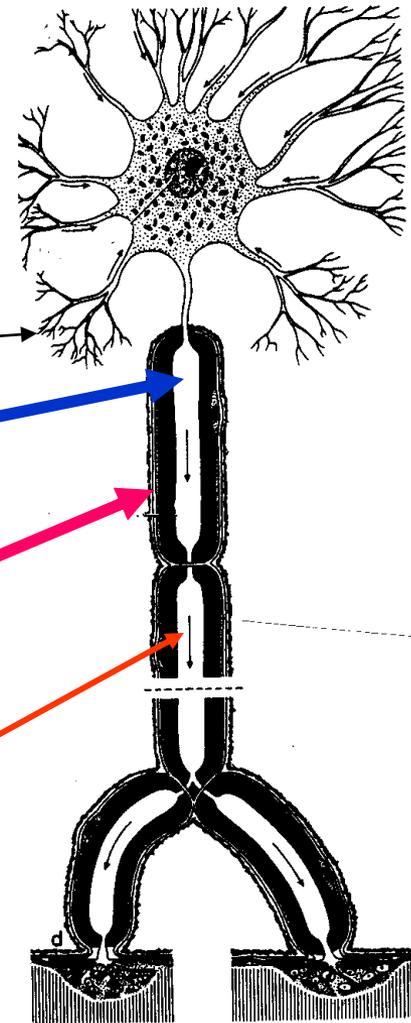
神経細胞

樹状突起
軸索

ミエリン鞘(髄鞘)

インパルス
(神経衝撃)

⇔インパルスの飛翔伝導



ニューロンの成熟

刺激を受けて興奮し、他の細胞に刺激を伝達

増殖

軸索の伸長

他のニューロンと
シナプス連結

後期成熟

マウス

早期
離乳

通常
離乳

母胎内

誕生

生後10日

20日

30日

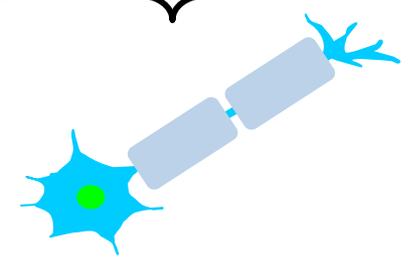
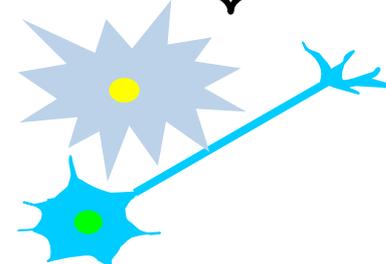
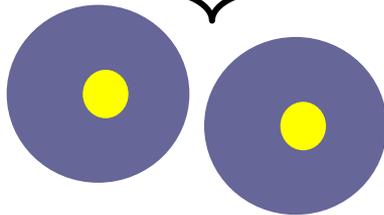
成熟期(分裂)

ミエリネーション

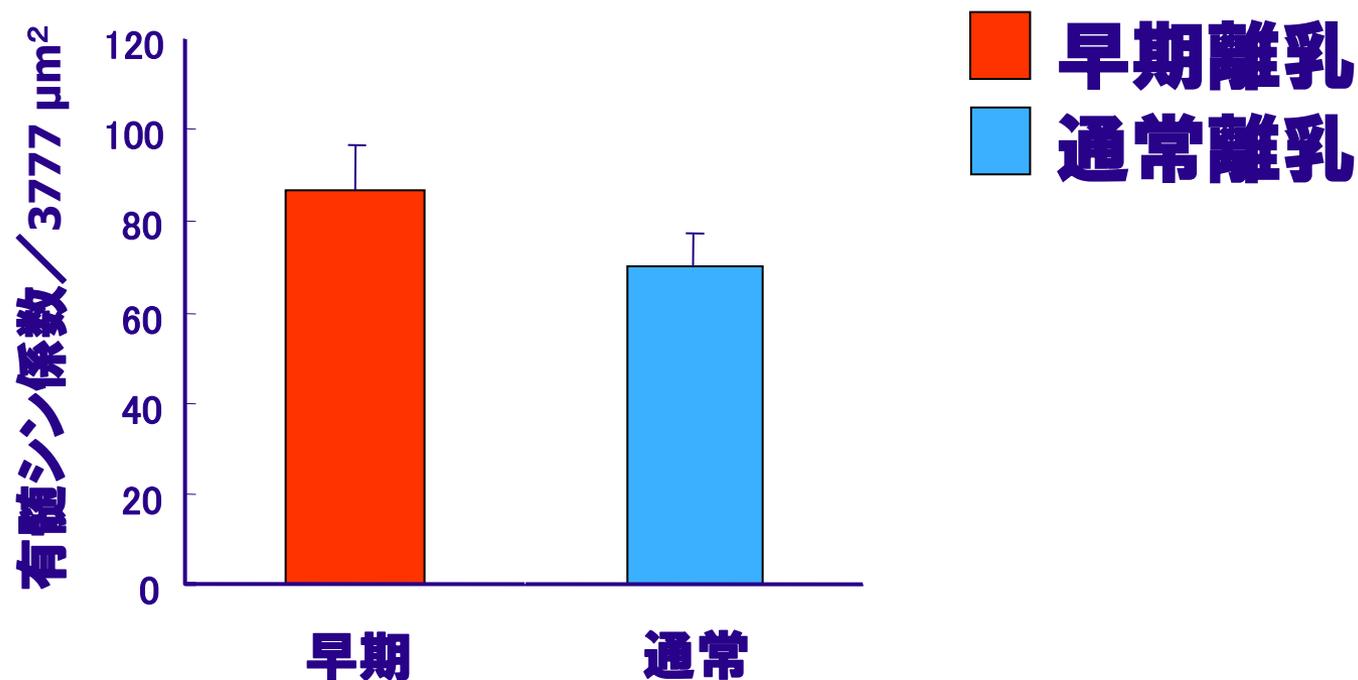
ミエリン形成

オリゴデンドロサイトの成熟

ニューロンの支持とミエリン形成



5週齢マウスのアミグダラ おける有髓神経数

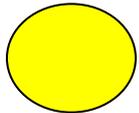


＊早期離乳群で有髓神経数が増加している傾向がある
(有髓神経: ミエリンの層で周囲を取り巻かれている神経
繊維で、神経伝導が速い)

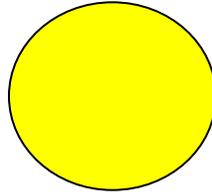
扁桃体で、3週齢から5週齢にかけてミエリン形成が促進されている可能性

ミエリン形成(髄鞘化)と軸索の成長

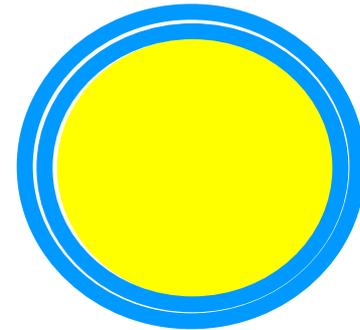
軸索(断面)



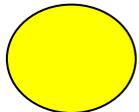
成長



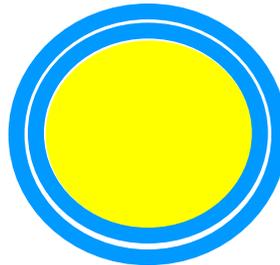
成長



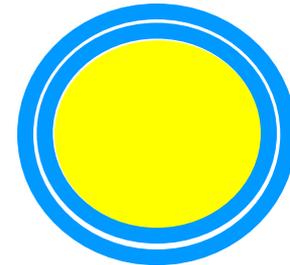
髄鞘化



成長



髄鞘化



* 髄鞘化の促進 → 軸索の成長が阻害され、可塑性が失われる？

早期離乳ストレスを負荷



脳の情動を司る部位である**扁桃体**で
ミエリンの形成が早まる

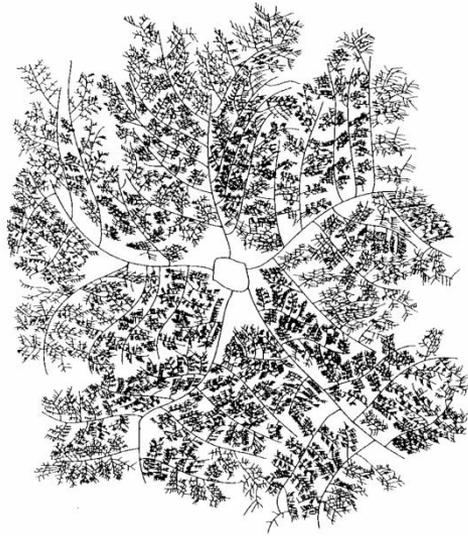


神経細胞の**軸索**に構造的変化

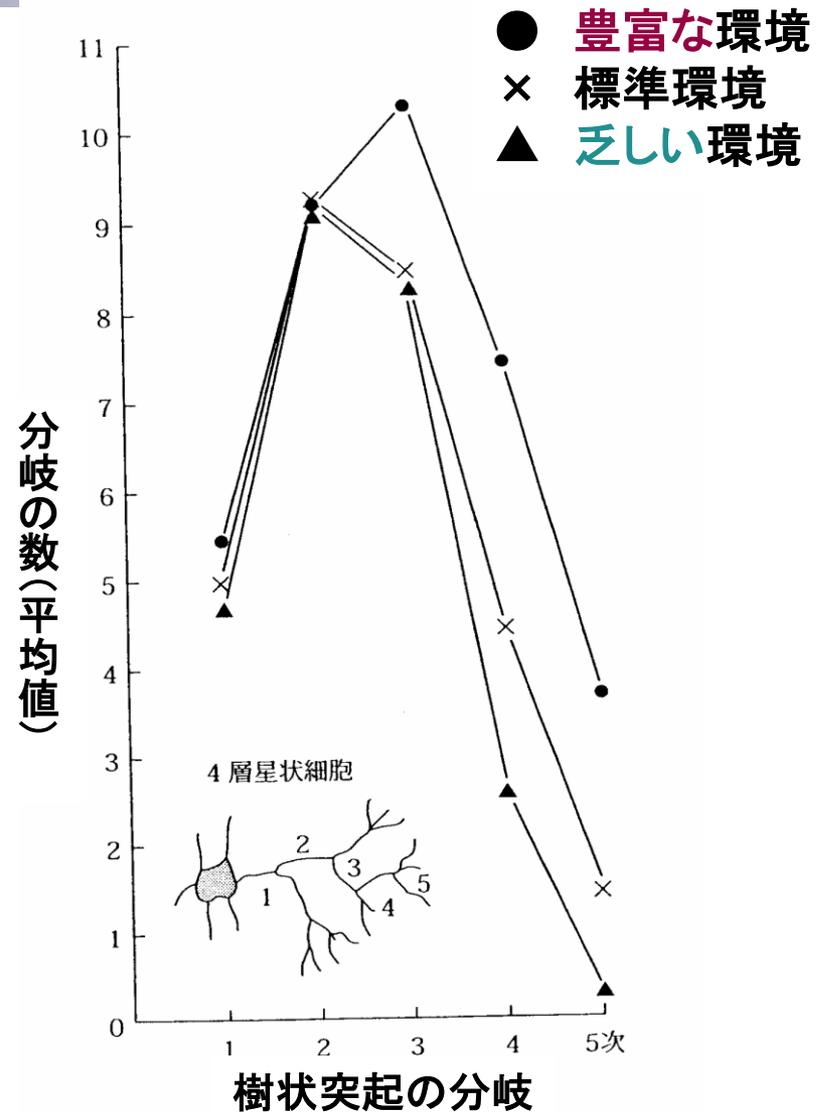
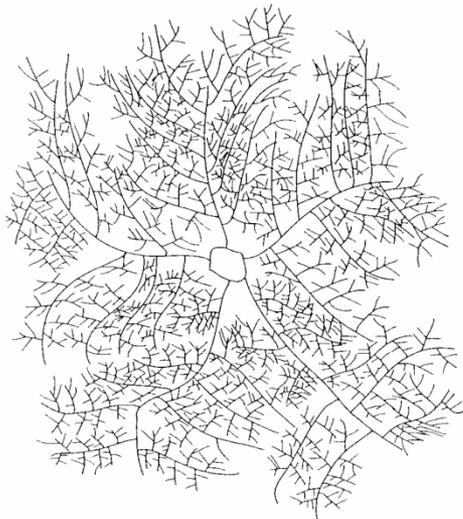


成長後の**情動の表出**に変化
(精神活動の動きが外部に現れる)

刺激の豊富な環境



刺激の乏しい環境

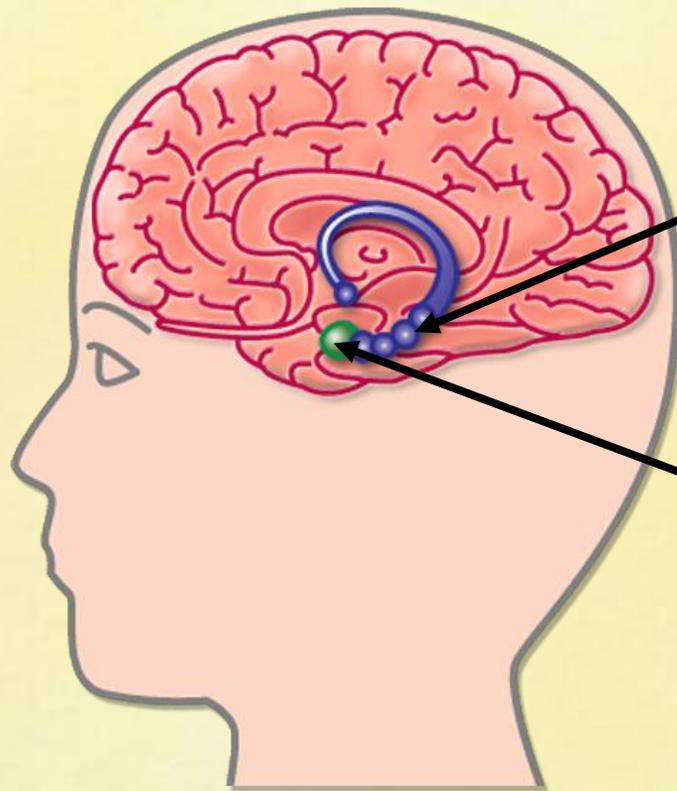


異なった飼育環境による**視覚野のニューロン**の樹状突起発達の違い

人間が虐待を受けると？

- ★ **大脳辺縁系 12～16%も委縮**
海馬(エピソード記憶)
扁桃体(对人的感情)

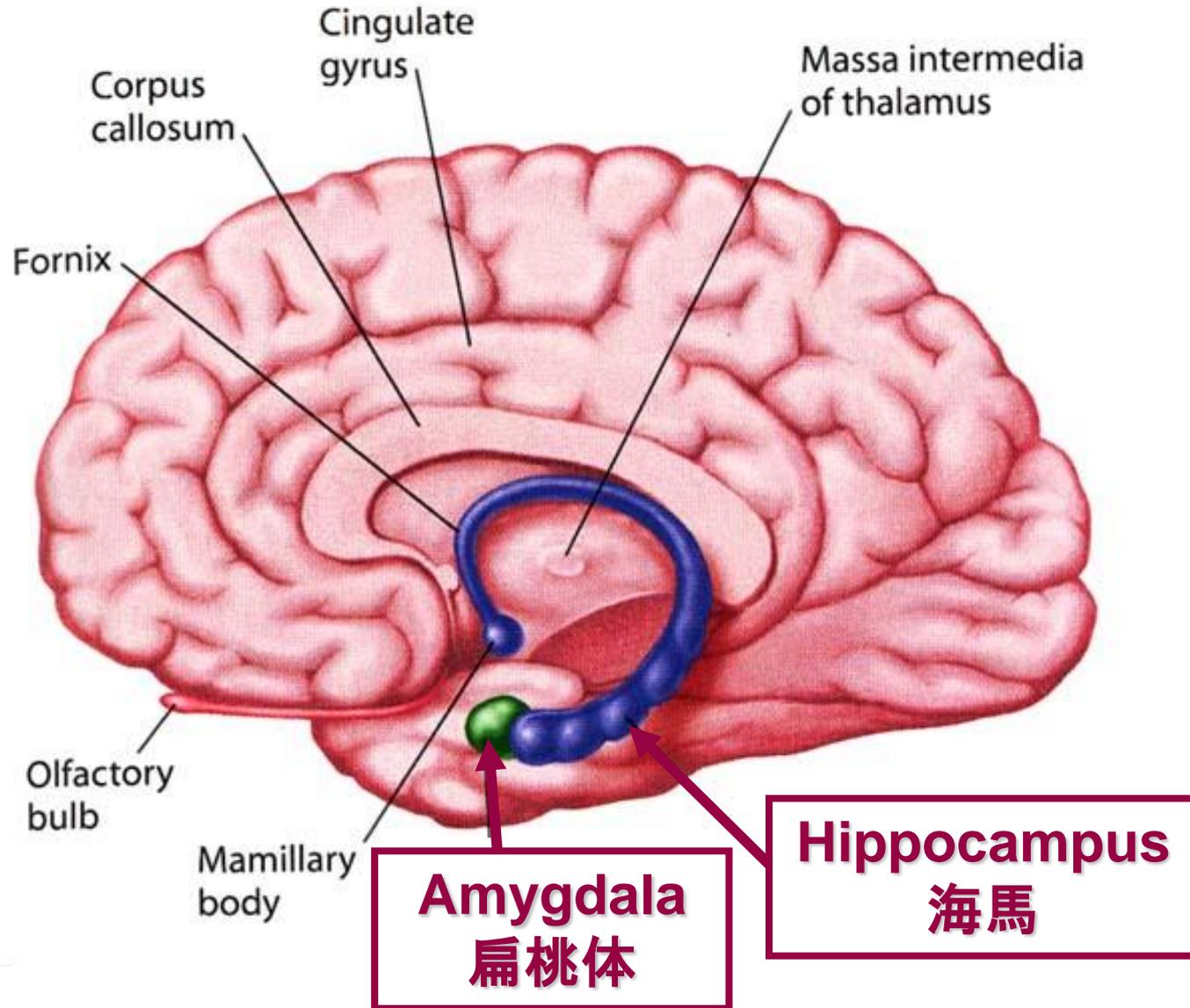
大腦邊緣系(海馬·扁桃體)



海馬
Hippocampus

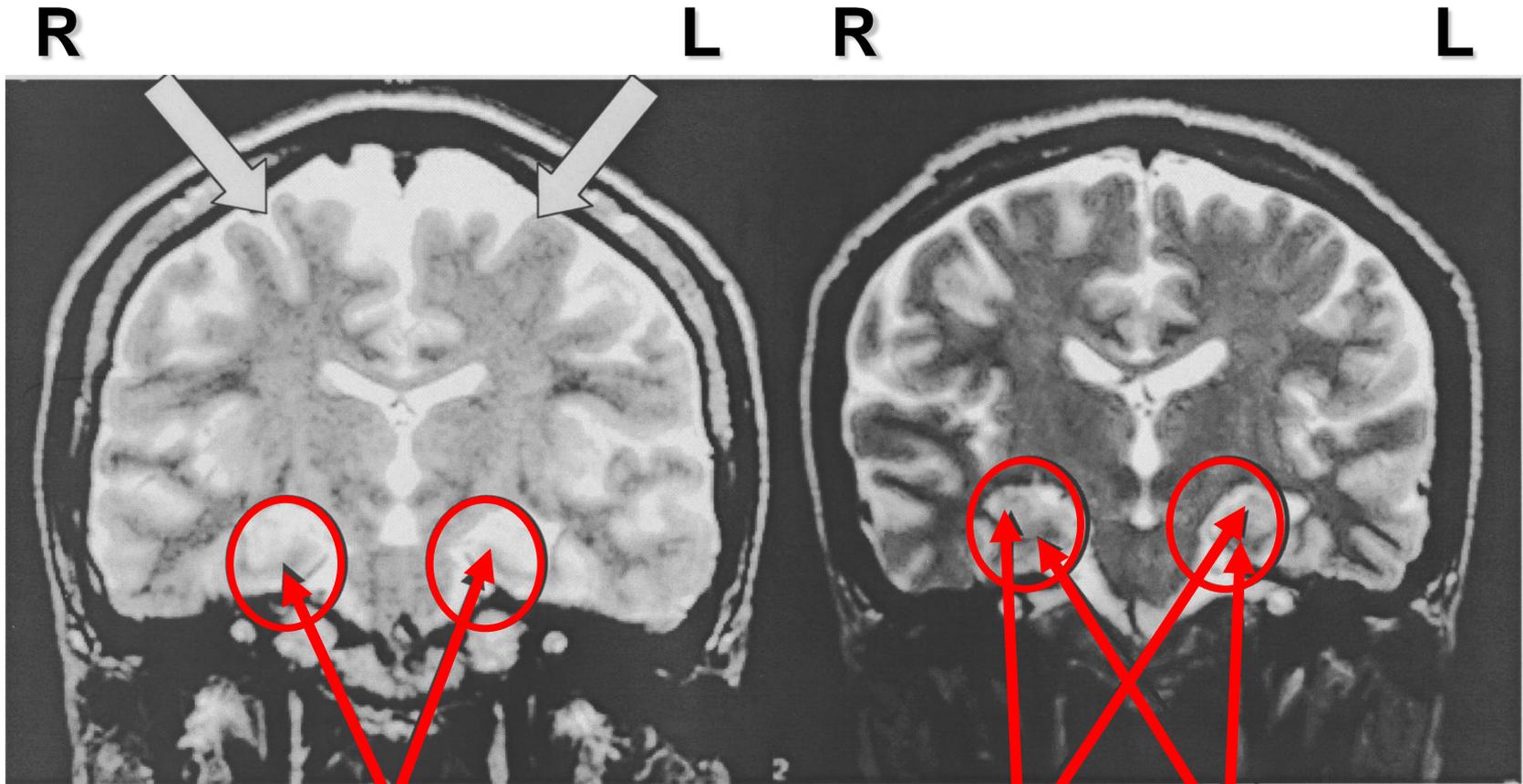
扁桃體
Amygdala

海馬 · 扁桃體



MRI

近親姦虐待と成人期精神障害
(斎藤・中村・沼田, 2003)



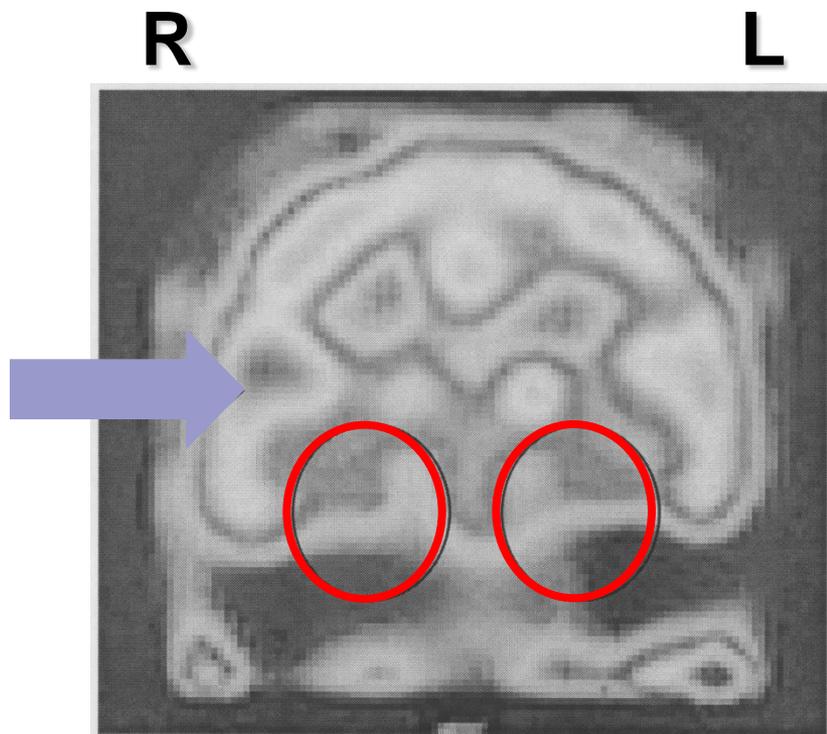
海馬傍回

MRI (Case)

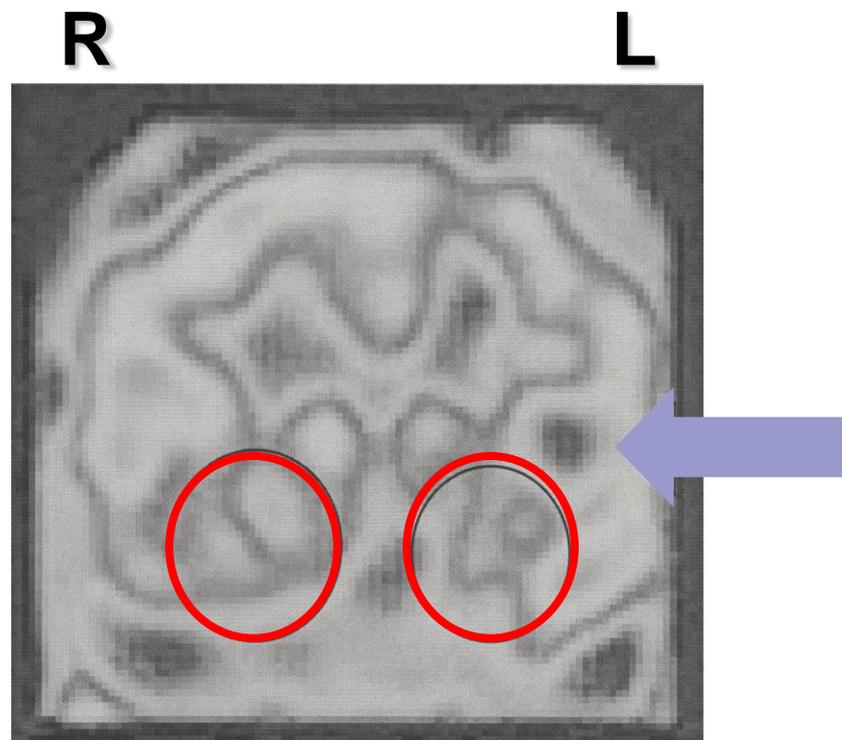
海馬 海馬傍回

MRI (Control)

SPECT



SPECT (Case)



SPECT (Control)

(斎藤・中村・田,2003)

次回 9月21日 岡村佳子先生

(1)「NHKニュース21」 1993年

★これから急増に向かう**予兆**

●「**虐待**」の本質が捉えられている。

(2)NHKスペシャル 1996年

★早期教育の過熱への**警鐘**

(3)NHK-hi 小皇帝の早期教育 2010年

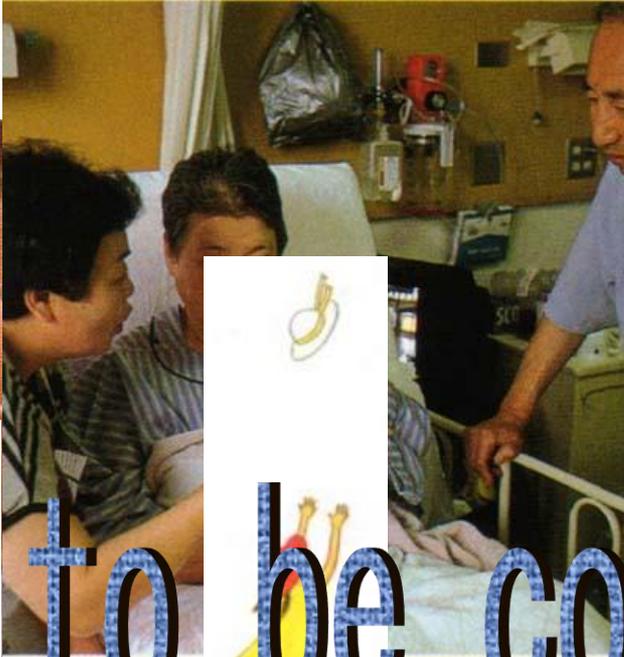
★**上海バイリンガル幼稚園**

課題：視聴後、討論し、A4版1枚に視聴のコメントや感想を書いていただく。

次回:『FとMの物語』

★F(6歳)とM(5歳):育児放棄
歪んだ生育環境のもとで
心身ともに深く傷つきながらも
見事に立ち直り、発達をとげていく

- (1) 人間の発達はいかに可塑性に富んでいるか
- (2) 子どもの発達に必須なものは何か
- (3) 支援策～防止策へ:子育て機能の再生



to be continued

